

令和5年度 第3回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

- 1 日 時 令和5年9月15日（金）18：00～19：30
- 2 場 所 神戸中学校会議室
- 3 出席者 委員：是枝徳義，兼丸良政，林佳代子，阿部雅登，河北瑞希，船戸弘美，
生駒明子，平子正人，片岡裕明（学校長）
学校教職員：市川泰（教頭），樋口智己（教頭），
青木有紀（教務主任），中村桂子（学力向上担当）
教育支援課：加藤稔明（コミュニティスクールコーディネーター）

4 あいさつ（委員長）

夏休み明けに子どもの発熱が何人かいた。コロナでもない、インフルでもない秋風邪。インフルも大変な感染の様子。まだまだコロナが増えてきている様子。気を付けるよう、お願いしたい。

2 報告

(1) 学校や生徒の様子について（学校長）

今年の夏は異常気象。不安な気持ちでスタートした。始業式はオンラインで行ったため、子どもたちの様子は始業式で見られなかったが、順調にスタートした。コロナ、インフルの急激な増加が心配だったが、今週に入り、収束気味。また、不登校だった生徒が登校できている現状がある。部活動は、顧問・生徒ともに夏休み、とてもがんばった。秋には新人戦。新しいチームでがんばっている。

3 協議

(1) 神戸中学校生徒の学力について（担当）

本年度の全国学調では、国数で全国との差が拡大した。英語については、全国的に平均正答率が低い結果であった。しかし、全国を上回ったものもある。（1日当たりの勉強時間（平日））以上から、結果には表れていないが学習への意欲はある。そこで、家庭学習の徹底、自分の言葉で書く力を身につけさせる必要がある。教科の枠を超えて、学年でも取り組む必要がある。

（委員長）グラフの見方が…

（委員）理解できていない生徒が多いということ？

（担当）まずは、C層を減らす取り組みをする必要がある。一概にこうとは言いきれないが一問一答には取り組む。たくさん文章を読み、意見を書く問題は弱い。自分の考えを外に出す力や粘り強く取り組む力は弱い。

（委員長）問題を見たが、問題が難しい。解釈する力をつけていかないと伸び悩む。

（委員）苦手意識を取り除き、自信を持たせては？授業を見たが、あんなにしてもらって

いるのに、できない子がどうしてもいる。数値だけで一概に言えないが、自分の子の時代の方が、勉強させる雰囲気があった。

(委員) 今も勉強しろと言う。

(委員) 塾どうしようと悩まれているお母さんもいるので…

(委員) 家庭によっても違うと思うけれど…

(委員) 自分の子どもが成績上がらないと困るというが、全体の学力を上げようという意識はないのでは？本人がやる気にならないと、周りがどれだけ言っても意味がない。

(委員) 自分で考えないで、スマホで調べてしまう。ワークでも答えを覚えてしまい、経過が理解できていない。

(委員長) これについての学力向上の対策は？

(担当) 授業改善については、しっかりやっているが、読み取る力や理論立てて話す力は教科だけでつけられる力ではない。そのため、本年度は学年で取り組むなど、全体で取り組む時期が来ている。

(委員長) ある小学校では5年生で、平均を大きく上回った。これはすごいこと。「何がよかったのか」を分析してほしいと小学校にはお願いしている。

(委員) 受ける側は、どう捉えて受けているのか？意義を理解しているのか？

(担当) 定期テストではないため、成績には入らないという思いがある。英語の「話すこと」では、東京、大阪ではとても高かった。東京では「話すこと」が入試で取り上げられている。評価規準も明確になっている。生徒にとって、身近かどうかはポイント。

(委員長) CD層でターゲットを捉えてほしい。

(委員) 読書活動をするようにと言われているが、読書をしたところで、学力がすぐ上がるわけではない。あくまでも1つの指標。

(2) 家庭や地域とともに取り組む学校・生徒支援について

(学校長) 読書については、家庭で培われた経験がポイント。前任小学校だったが、6年生になると音読がなくなるため、親に読み聞かせを依頼した。子どもたちの感想に印象的なもの「お母さんに読み聞かせをしてもらってうれしかった。」「お母さんはやっぱり上手。」

そういう経験が非常に重要。学校だけではなく、地域や家庭で関わってもらい機会を作ってもらいたく、協議のテーマとした。

(委員) 小2の児童が、赤ちゃんに読み聞かせをしたいと言い出した。卒業生が顔を見たら挨拶をするようになってきた。地域の人それぞれが関わるようになってきたら、変わるのでは？発達障がいの子どもたちへの関わり方によって、障がいの程度を大きくしてしまうこともある。それぞれの状況を把握・理解して、関わるのが大切。大人を信頼できる子どもが増えてほしい。

(委員長) 河曲小では1・2年生を対象に放課後教室を行っている。地域で何かできないか？

(委員) コロナで祭りなども中止されている。地域でいろいろなことを経験させてやりたいとは思いますが…

(委員) いろいろな場所に中学生が出向き活動していたが、コロナでなくなった。

(委員) 祭りは小学生(子供会)まで中学生は参加しない。吹奏楽の子たちは来てくれるが、祭りにはなかなか来ない。お月見泥棒もやっているが小学生メイン。

(教頭) 中学生は、現実的には忙しい。部活動は、土日の1日だけになったが、それでもやっぱり忙しい。

(学校長) 運営を大人と一緒に中学生ができないか？

(委員) 準備も結構大変。忙しい中学生になかなかお願いできない。

(教頭) 吹奏楽部に演奏を依頼したいと言われることが多いが、運搬費が非常にかかる。運搬費だけは主催者側にお願いできるとありがたい。(消耗品もたくさんあり、保護者負担している部分もあるため)

(委員) 演奏者側としては、演奏する機会が与えられるのはありがたいが、できるだけ外で演奏するのは避けたい。楽器が傷むため。

(委員) 学校支援だけでなく、生徒が地域を手伝うことは可能なのか？外でできることがあったら、考えたい。

(教頭) 合唱部がある。デジタル園芸部もおもしろい活動をしている。

4 その他

(1) 体育祭・文化祭の参観について

- ・体育祭 10月4日(水) 予定
コロナ・インフルの流行、駐車場、熱中症の関係で、すでに案内配付済。
- ・参観については、保護者に加え、運営協議会の委員様に限る予定。できるだけ車で
の来校は避けていただく。
- ・合唱コンクール 10月24日(火)、26日(木)
本年度は、体育館に全校が入る。保護者席は限られるため、各学年の合唱コンクール実施時間帯の入場とする。

(2) 次期鈴鹿市教育大綱及び鈴鹿市教育振興基本計画に係る意見聴取について

- ・教育長より、PTAと学校運営協議会からも意見を聴取したいと要望ある。神戸中
学校の運営協議会としてまとめて提出するため、委員長まで提出をしてほしい。

(委員長) 読書活動について、記入した。他の計画等との整合性について。また、横文字が多々出てくるため、みんなにわかりやすく書いてほしい。気持ちはわかるが欲張っている気がする。

(3) 今後の主な日程について

(委員) 夏の中体連の成績が欲しかった。→新人戦とともにお知らせする。

- ##### (4) 校区学校運営協議会 11月14日(火) 16:00～ 神戸中学校 あいさつ・交通安全・家庭学習・ネットトラブルの4グループで実施予定 ※10月20日実施予定だったものが、11月14日になった。

(加藤コミュニティスクールコーディネーターより)

担当教員から実際に話をしてもらったことで、詳細がわかってよかった。読解力は、中学生ではなく、小さい頃から身につけていかなければならない。小中が連携し、9年間でどうやって学力向上を図るのか、どのような手立てをとるとよいのか、話し合っていただけでよい。

また、家庭・地域とともにどのように進めていったらよいのかについては、非常によい機会であった。話し合うことがスタートになる。話し合いを何度も積み重ねることで、新たに知ることもある。中学生が活躍する場については、良い話し合いになった。子どもたちに達成感を味わわせることが大切。ぜひ、次回もこのような話し合いを。